

2023年3月30日

武蔵野美術大学 学長 殿

海外研修報告書

下記の通り、海外研修の報告をいたします。

記

| | | | |
|--------------------------------|--|----|------|
| 氏名 | 大山真莉香 | 所属 | 共通絵画 |
| | | 職位 | 助教 |
| 研究課題 | ヨーロッパの人形劇美術について | | |
| 研究先機関 | Mirakulum puppet theatr、ペルガモン博物館、文化フォーラム絵画館、シャルロッテンブルグ宮殿、ザクセンハウゼン強制収容所、おもちゃ博物館、国立ブラックライトシアター、シュペイブル&フルヴィーネク劇場、アウシュビッツ強制収容所、織物会館、クラクフ民俗学博物館 | | |
| 主な滞在地 (国・都市名) | ドイツ(ベルリン、ザイフェン)、チェコ(プラハ)、ポーランド(クラクフ) | | |
| 渡航日程 | 2023年 2月17日 ~ 2023年 3月17日 (28日間) | | |
| 研究目的・理由 | 人形劇が盛んに行われ、国内に多数の人形劇場がある、ドイツ、チェコ、ポーランドに赴き、日本に伝わった人形劇のルーツに触れたい。日本国内では人形劇専門の劇場という場所は少なく、人々の関心も海外に比べると少ない印象を受ける。街中に人形劇場がいくつもあり、人形劇という文化が身近にある人々の感性や、取り巻く環境についても研究したい。 | | |
| 研究成果発表予定 (展覧会、著書、 論文発表等) | 立体作品の展示。電子書籍にて研究成果の発表。ウェブメディアにて記事の寄稿。 | | |

研究内容

劇場に何度か足を運んだが、演目のバリエーションの幅広さ、そして集客力の異常な高さに驚いた。平日の夜に、人形劇を上演しており、大人で満席状態の劇場を何度も目にした。内容もアンダーグラウンドな大人向けのものである。劇場に BAR が併設されており、お酒を飲みながら人形劇が始まるのを待つ大人達は、日本で人形劇をしている私からすると衝撃的だった。

人形劇というと、日本では子どもが観るものというイメージを持っている人が大半だと思われる。大体の客層が親子であり、自然と演目もわかりやすい絵本などを題材にしていることが多い。もちろん人形浄瑠璃文楽という日本の伝統芸能の一つは、大人向けのものも多いが、そもそも人形劇を見に劇場まで足を運ぶ人が少ない。大人向けの作品の集客が難しいため、やはり児童をターゲットにした演目が多いのだ。

それがチェコでは、平日の夜 20 時に、大人向けの演目が満席なのである。人形劇を観る、ということがとても身近なのだと感じた。ドイツの支配下で抑圧している中で生まれた人形劇という文化が、チェコの人にとって特別であることがよく理解できた。大人の毎日にも、人形劇が入り込んでいるのは非常に興味深く、人形劇に対しての感覚の違いを、歴史的背景も含めて今後も探究していきたい。

もちろんチェコでは子ども向けの演目もたくさん上演されているのだが、日本との大きな違いは人形の造形にある。正直あまり愛らしいとは思えないような人形が主人公だったりするのだ。子ども向けだからと言って、決して可愛らしい造形にはしないところは非常に面白いと感じた。正直怖いと感じるデザインも多くあったが、それを観て泣き出す子どもには遭遇しなかった。人形劇に対して、「かわいい」という感覚を求めているのか、あるいはその造形を「かわいい」と感じているのか。

ドイツ・チェコ・ポーランドでは、全ての国で日本の妖怪の格好で歩くというパフォーマンスを行ったのだが、日本では泣き出す子供も多くいるのに対し、私が滞在したヨーロッパの地では泣き出す子どもは 1 人もいなかった。この日本とヨーロッパの感覚の違いについても、今後理解を深めていきたいと思う。

人形劇という文化の理解を深めるためには、チェコ、またその周辺の国の建築、歴史について学ぶことに意義があると感じている。戦争の負の遺産などの歴史を直で見ることによって、人形劇の歴史を紐解いていけるように思う。建築美術は、人形劇の舞台美術に通ずる装飾を、街の至るところで観ることが出来た。

ドイツの過酷な労働をしていた歴史のある地域では、人形のおもちゃや、置きものなどに何か労働をさせているモチーフが多いのも興味深かった。生活環境が、人形のデザインに組み込まれているのを感じ、やはり人形劇が盛んな地域の歴史的背景を調べることは、人形劇への理解につながると実感した。

| | |
|-----------------------------|--|
| <p>大学授業における 研究成果の還元</p> | <p>2023 年度からいくつかの授業を、教授のサポート的な形で受け持つことになったので、学生との会話の中で今回学んだことを役立てたい。</p> <p>研究成果の発表の場として、助手・助教展にて、立体作品の展示を考えている。</p> |
|-----------------------------|--|

研究日程（全滞在期間）

| 出発日 (現地時間) | 出発地 (国・都市名) | 到着日 (現地時間) | 到着地 (国・都市名) | 研究内容等 | 滞在 日数 |
|---------------|----------------|---------------|----------------|------------------------|----------|
| 2月17日 | 日本・東京 | 2月18日 | ドイツ・ベルリン | ドイツの美術、工芸の鑑賞。人形劇美術の鑑賞。 | 8日 |
| 2月26日 | ドイツ・ベルリン | 2月26日 | ドイツ・ザイフェン | ドイツ建築の鑑賞。木工工房見学。 | 3日 |
| 3月1日 | ドイツ・ザイフェン | 3月1日 | チェコ・プラハ | 人形劇美術の鑑賞。チェコ建築の鑑賞。 | 8日 |
| 3月1日 | チェコ・プラハ | 3月9日 | ポーランド・クラクフ | アウシュビッツ、民族学博物館の見学。 | 8日 |
| 3月16日 | ポーランド・クラクフ | 3月17日 | 日本・東京 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 備考 | | | | | |

以上

- ※ 欄が不足する場合は、適宜、行を挿入するなどして記入してください。別紙添付も可。
- ※ その他特記事項等がある場合は、備考欄に記入してください。



















